

## アメリカとカナダの公共図書館における中国系住民に対するサービス

堂下 美穂

伝統的な移民国家であるアメリカとカナダでは、移民のコミュニティがある地区を中心に公共図書館による多文化サービスが盛んである。両国では近年、中国系移民の数が増加している。

先行研究では、アメリカの公共図書館で中国系住民を対象としたどのようなサービスが行われているかについて明らかにされている。しかし、現在直面している課題や課題に対する解決策については言及されていない。また、カナダの公共図書館が提供する中国系住民を対象としたサービスに関する研究は行われていない。そこで本研究では、多文化サービスが盛んなアメリカとカナダの公共図書館で行われている、中国系住民を対象としたサービスを研究テーマとして取り上げる。現在のサービス内容や外部の団体との連携、利用者の傾向や効果的なサービス、課題とそれに対する解決策などを明らかにする。

本研究では、アメリカとカナダの公共図書館4館における中国系住民に関するサービスを対象とする。文献調査とウェブサイト調査を通じて、現在行われている中国系住民を対象としたサービスやプログラム、ウェブサイトでの情報提供について把握した。次いで図書館員へのメールによるインタビュー調査を行うことで、中国系住民へのサービスの現状と課題をより詳細に把握した。

調査の結果、利用者のニーズを満たした中国語コレクションが用意され、学習プログラムや文化的なイベントの参加率も高いことが分かった。また、図書館員へのインタビュー調査を通して、中国系住民にサービスを提供する上での課題が明らかになった。

現状の課題としては、中国語を話せるスタッフが不在の時の意思疎通、資料の需要に見合うだけの予算確保、プログラムの定員超過があげられる。特に中国語を話せるスタッフの確保は、中国系住民が遠慮することなく図書館サービスを利用するために必要である。いずれの課題についても、図書館外の組織との連携によって解決できると考えられる。地域的な団体から海外の図書館まで、幅広いネットワークを持つことでサービスの質を維持していくのが適当であると結論付けた。

本研究では、訪問調査を行っていない。そのため実際には本研究で取り上げたよりも多様なサービスが行われている可能性がある。プログラムの実施状況や宣伝のためのチラシなど、訪問することで得られる内容についてのさらなる調査が必要である。また、多文化サービスとはあくまで多様な文化を尊重し、情報へアクセスする機会を守るものである。多民族国家でない国の図書館において、特定の言語でのサービスを行う際、参考にするとは可能だと考えられる。

(指導教員 吉田右子)